



衣笠地連協 かわらばん

平成 28年 6月 24日
第 6号

発 行 衣笠地域運営協議会
事務局 衣笠行政センター
☎046-853-1611

平成 27 年度の主な活動の報告

継続 26 年度からの継続事業

新規 27 年度からの新規事業

継続

衣笠山公園サクラ樹勢回復部会の事業

昨年度に引き続き、雑木・サクラ伐採による日照や樹間改善、土壌改良を実施し、サクラ樹勢の回復を目指しました。

♠ EM菌散布効果の検証を開始しました。



♠ 忠犬タマ公で交流のある新潟県五泉市から受贈した「穂咲彼岸八重桜」を植樹しました。



♠ ソメイヨシノの若木を植樹しました。

継続

町内単位の助け合い組織の活動

町内単位の助け合いボランティア組織「助け合い公郷台」(モデル事業)の活動を開始しました。

『地域のことは地域で!』

地域の中で、地域の人々による、地域のための、支え合い助け合う仕組みを作るためには、取り組みの手順(プロセス)が大切です。関係者が知恵を出し合い「地域のことは地域で! 支え合う仕組みのマニュアル」をまとめました。

他町内会・他地域へ普及させるため、城山自治会にボランティア組織の設立と支援活動を行いました。



助け合い公郷台

連携

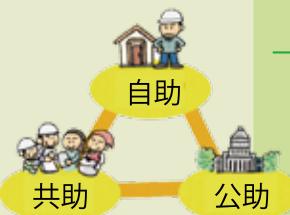
助け合い〇〇
(他の地域のボランティア)

新規

防災専門部会の事業

衣笠地域の共通の課題となっている「防災」について、各自主防災組織力の格差を埋めていくことを目的とする防災専門部会を設立しました。この課題について各町内会・自治会へのアンケートを実施し、集計結

果をまとめた冊子を作成しました。今後、分析から得た結果をもとに、「衣笠地区防災対策についての提言」をまとめ、地域防災力の向上につなげていきます。



【衣笠地域防災に関するアンケートの集計結果編】より抜粋

防災活動を進める上で問題点

回答件数

1. 役員の高齢化が進み非常時の対応が難しい
2. 防災訓練の参加者が少ない、関心度が低い
3. 高齢者が多い、支援できる人が少ない
4. 防災訓練に若い人の参加、協力が少ない
5. 女性の活用ができていない
6. 学校と連携した、中高年ボランティアの活動ができていない
7. 防災活動予算が足りない
8. 近隣町内会との連携・交流不足
9. 住民同士の地域への愛着・連帯感が薄れている

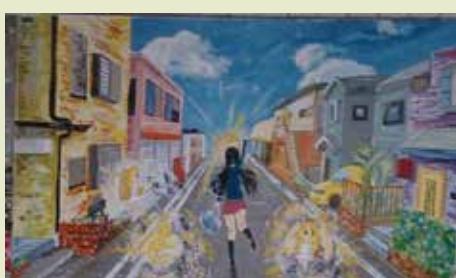


**新規 衣笠十字路地下道の壁面装飾事業**

長年にわたり課題となっていた衣笠十字路地下道の防犯面・衛生面の環境改善を図るために大型作品を展示しました。この事業を契機に県土木事務所と協議し、地下道の照明灯をすべて点灯してもらうことになりました。

展示作品のうち、衣笠小学校6年生の作品は、展示後に剥がされるという災難に遭いましたが、困難を乗り越

三浦学苑高等学校美術部の作品



春光学園児童の作品



えて新たな作品を創作し、改めて展示することができました。このような事件が起こらないよう、防犯カメラの設置など、更に地下道の環境改善を要望していきます。

また、同時に、衣笠コミュニティセンター講座と連携し、アロマ精油を活用した、臭い対策となる消臭ディフューザーを同地下道に設置しました。

衣笠小学校6年生の作品

**平成28年度の事業計画****◎観光・商店街活性化に資する事業**

- ①衣笠山公園サクラ樹勢回復活動【継続】
- ②衣笠十字路地下道の壁面装飾事業【継続】
- ③商店街活性化事業【新規】

衣笠商店街と連携し、地域医療と地域経済が連携した
にぎわいあるまちづくりを推進する。
・日曜健康セミナーなど

◎高齢者を中心とした福祉に関する事業

町内単位の助け合い組織の活動【継続】

◎地域防災力の向上に関する事業

防災専門部会の活動【継続】

衣笠地運協の3つの役割・3本の柱**【3つの役割】**

衣笠地運協には、3つの役割があります。

- ①各地域活動団体の連携、ネットワーク化を図ります。
- ②身近な課題の解決や暮らしやすく魅力あるまちづくりのための企画等を立案し、具体的な取組みを行います。
- ③地域の特性や実情に合ったまちづくりの実現に向けて、地域だけでは解決できない課題の対応策や地域に関わる市の施策に提案等を行います。

【3本の柱】

衣笠地運協の事業は、3本の柱があります。

- ①福祉に関する事業
- ②観光・商店街活性化に資する事業
- ③地域防災の向上に関する事業



衣笠スカリン

本紙のご案内

地域住民が主体的に取組むための組織として設立された衣笠地域運営協議会（略称：衣笠地運協）の活動内容について地元のみなさまにご紹介するための広報紙です。

衣笠地運協

